

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：黄曼琳

職業：学生

所属：広島大学

専門分野：人間社会科学研究科経済プログラム

日本語レベル：N1170点 上級

英語レベル：TOEIC 825点

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

私は中国の四川省の出身で、高校卒業まで四川で過ごしました。大学進学を機に、故郷から約1,640km離れた天津で3年間を過ごしました。同じ中国でも、話し方（方言）や人々の性格、飲食文化など、地域によって大きく異なります。そこで私は、地域ごとの文化の違いを楽しみながら生活してきました。

2023年9月からは、広島大学に交換留学生として留学し、初めての海外生活が始まりました。一人暮らしやアルバイト、サークル活動など、さまざまな「初めて」の体験を通じて、自分自身に挑戦しながら成長しています。

新しいことに触れるのはもちろん楽しいですが、それだけでなく、母国や慣れた環境で経験してきたことを異なる文化圏で改めて体験することで、新しい視点や背景に気づくことができるのも大きな学びです。日本に来てからは、日本人だけでなく、さまざまな国籍の人たちと交流する中で、「文化や個性の違いがあるからこそ、今の世界はこんなにも素敵なんだ」と日々感じています。

広島の子供・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

最初の段階（低学年に向け）では、文化の多様性を表す身近な例を紹介したいと考えています。特に中国（四川省）の代表的な文化（食文化）を取り上げることで、異文化の面白さを感じてもらい、人間の多様性や文化の違いに対する好奇心を育て、「違いを楽しみ、受け入れる姿勢」を身につけてもらえるようにしたいです。

さらに深い段階では、感覚的な理解から一歩進んで、「なぜ文化が違うのか？」という視点に立ち、背景にある風土や習慣、価値観の違いを一緒に考えていきます。子どもたちには、異文化に対する理解と尊重の心を持ってもらいたいと願っています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：
こんにちは。中国出身の黄曼琳（こう・まんりん）と申します。新しい人や物事に会うのが大好きで、「世界中の人が、それぞれ違うからこそ、世界は素晴らしい」と信じています。
日々の生活の中のささやかな出来事にも幸せを感じながら、「小さな冒険」を通して、新しい知識や考え方に出会うことを楽しみにしています。みなさんとの出会いと交流を、心から楽しみにしています！

